

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	フレデリック西新		
○保護者評価実施期間	2026年 3月1 日		～ 2026年 3月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年 3月1 日		～ 2026年 3月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○庭と畳のある一般家で、家庭に近い環境で過ごしています。 ○情緒の安定を図るため、室内外では木製品の家具、落ち着いた色味を使用しています。 ○遊びを大切にしたい集団療育のなかで、ボードゲーム療育を拡充してきました。	○植栽のある和風庭園を改装し、人工芝を敷き、トランポリンやモルック等で遊べるようにしました。 ○庭でめだかを育てたり、青虫を育てて蝶にしたり、野鳥の餌を用意するなどして、生き物とのふれあいを行っています。 ○長期休みや土曜には、地域の活動に参加したり、地域の講師を招いたイベントを行っています。	○児童の成長とともに、六年生卒業プログラム(お茶体験・バイキング体験)を実施するなど活動を広げています。 ○夏祭りでは、児童の兄弟姉妹をゲストとして招待しました。今後も拡大して行う予定です。
2	○西新という環境を生かし、地域と連携しながら安全対策を行っています。	○通行する方から目立ちすぎない看板表記により、利用児童のプライバシーと安全を守っています。 ○児童とともに西新公民館、西新交番を定期的に訪問・交流し、いざというときのサポートが受けられるようにしています。 ○開設時より、警備会社(にしけいさん)と契約しています。	
3	○「食べること」を大切に、体験型の食育活動を行っています。	○日々のおやつは4種類用意し、さまざまな味覚や食感を体験できるようにしています。 ○オイスカさんとの連携による稲刈り・餅つき・収穫祭を実施するほか、収穫した稲を使ったクラフト体験も行っています。 ○お箸の先生の指導による「お箸あそび」を行っています。	○専門家の指導によるそばうちやうどん作りが好評でした。活動の充実を図ります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○求めている作業療法士がいないことです。 ○理学療法士を採用できましたが、定着には至りませんでした。理学療法士をめざす専門学生は長期勤務しています。	○専門性を深められる環境不足、療育感の相違などが要因かと思えます。	○現状と今後めざす療育を整理し、ミスマッチのないようにします。専門職のキャリアアップの道筋を作ります。
2	○病欠や疲れなどによる欠席率が高いように感じています。	○利用時の心身の健康管理にいつそう留意します。	○学校行事などの疲れにも配慮します。
3	○療育における研鑽はまだ余地があると感じます。一方で、業務の効率化が不足していると感じます。	○効率化を図り、研修や研鑽にあてる時間を増やしていきたいと考えます。	○ハグ、リタリコ、他の研修機会は設けていますが、キャリア形成の視点で、内容を見直します。 ○業務効率化のためにAiの利用を拡充します。